

## 脳卒中内科

橋川一雄

脳卒中内科は脳神経外科と協力して脳卒中治療の24時間体制を取り、その中で当科は脳梗塞や一過性脳虚血発作などの虚血性脳卒中を担当しています。当科はスタッフ全員が脳卒中専門医であり、その中に脳神経血管内治療専門医、日本神経学会専門医、脳神経超音波の専門医や核医学専門医がいるなど脳卒中診療に特化した内科部門です。

近年、急性期脳梗塞治療の進歩にはめざましいものがあります。2005年10月にrt-PA静注による血栓溶解療法が承認されました。また、2014年末から2015年初頭にかけて複数のランダム化された大規模研究によって脳梗塞急性期治療における血管内治療の有効性が証明されました。これを受けて各種のガイドラインでも血管内治療は脳梗塞急性期の標準的治療と認められるようになりました。しかし、血管内治療は専門性が高い治療であり施行可能な施設は限られています。当院は以前からrt-PA静注療法のみならず脳血管内治療を積極的に行ってきました。

当科は、また脳卒中内科として脳梗塞の1次および2次予防にも努力してきました。人間ドックや脳ドックによって、無症候性頸動脈狭窄症、無症候性脳梗塞（隠れ脳梗塞）や頭蓋内血管に狭窄が見つかることがあります。また、最近ではMRIの撮像法の進歩によって隠れ脳出血（微小脳出血）が見つかることも増えています。これらの病巣は将来の脳卒中や認知症発症を予見させる所見です。当科では、これらの所見を有する患者の精査を行っています。脳MRI/MRA、頸動脈エコー、経食道心エコー、脳血流SPECTや脳血管撮影などを行い脳卒中発症の危険因子を調べ、必要な治療や生活改善の指導を行っています。また、頸動脈狭窄症はその程度に応じて外科治療が必要になることがあります。当科では脳外科と協力して頸動脈ステント留置術を施行しています。

脳梗塞治療は時間との勝負であり、一刻でも早く患者の治療を行うためには、一般住民や救急隊員の啓蒙が重要であると同時に院内での看護部、検査部あるいは放射線部などの協力が必要です。このように脳卒中はチーム医療であり関係部門との緊密な協力が不可欠です。これを実現するために、2016年7月には脳卒中内科、脳神経外科およびリハビリテーション部門を合わせて脳卒中センターを開設いたしました。教育活動として、2016年度には院内向けの講習会である脳卒中セミナーを2回、また院外も含めた脳卒中の初期治療対応の講習会であるISLSを2回開催しました。研究では塞栓原不明の塞栓症における心房細動の検出、血栓回収療法で回収された血栓とCTや臨床所見との対比などについて脳卒中学会などで発表してきました。2016年3月5日には日本神経学会第107回近畿地方会を大阪国際交流センターにて開催いたしました。

以上のように当科では急性期脳梗塞治療から慢性期の脳卒中危険因子の精査、治療および研究を行っています。今後は、脳卒中センターとして、脳卒中診療の地域基幹施設となるように努力してまいります。

### 【2016年度 研究発表業績】

A-0

Matsumoto M, Sakaguchi M, Okazaki S, Hashikawa K, Takahashi T, Matsumoto M, Ohtsuki T, Shimazu T, Yoshimine T, Mochizuki H, Kitagawa K: Relationship Between Infarct Volume and Prothrombin Time-International Normalized Ratio in Ischemic Stroke Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation. 「Circulation Journal」 81(3): P391-396, 2017年2月24日

#### A-2

山本司郎：血管内治療の合併症「チームで成功させる脳梗塞血管内治療」幸原伸夫、藤堂謙一、坂井信幸、今村博敏：p24-28、診断と治療社、東京、2016年9月

#### B-3

山本司郎、村上泰隆、佐木山裕史、玄 富翰、永野恵子、橋川一雄、藤中俊之：ICA-T閉塞をどうするか：ステントリトリーバー選択に至った理由。第19回日本栓子検出と治療学会、神戸市、2016年10月15日

山本司郎、村上泰隆、佐木山裕史、玄 富翰、永野恵子、森 清、藤中俊之、橋川一雄：脳血栓回収術で得られた塞栓子病理所見と臨床的特徴との関連。第19回日本栓子検出と治療学会、神戸市、2016年10月14日

山本司郎、大原寛明、村上泰隆、玄 富翰、小村江美、永野恵子、森 清、藤中俊之、橋川一雄：脳血栓回収術により回収した塞栓子の病理学的検討。第40回日本脳卒中学会総会、札幌市、2016年4月15日

#### B-4

永野恵子、村上泰隆、佐木山裕史、玄 富翰、山本司郎、小村江美、橋川一雄：原因不明の塞栓性梗塞における心房細動検出の検討。第42回日本脳卒中学会総会、大阪、2017年3月17日

村上泰隆、永野恵子、佐木山裕史、玄 富翰、山本司郎、小村江美、橋川一雄：院内発症脳梗塞の発見遅延要因についての検討。第42回日本脳卒中学会総会、大阪、2017年3月16日

佐木山裕史、山本司郎、村上泰隆、玄 富翰、永野恵子、橋川一雄：腕頭動脈閉塞、右中大脳動脈閉塞をきたし抗凝固療法で再開通した心原性脳塞栓症の一例。第19回日本塞栓検出と治療学会、神戸、2016年10月14日

#### B-5

山本司郎、村上泰隆、佐木山裕史、玄 富翰、永野恵子、橋川一雄、藤中俊之：腎不全合併例に対する脳血栓回収術。第3回日本脳神経血管内治療学会近畿地方会、吹田市、2016年9月3日

佐木山裕史、山本司郎、村上泰隆、玄 富翰、小村江美、永野恵子、橋川一雄、井上信正：ニロチニブが原因として疑われた両側中大脳動脈狭窄症の一例。日本神経学会第107回近畿地方会、大阪、2017年3月5日